

1. 科目名 (単位数)	身体構造と機能 I (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2316 SNMP2116 SCMP2316 SBMP2316								
2. 授業担当教員	山下 喜代美		5. 開講学期	春期							
4. 授業形態	講義 演習										
6. 履修条件・他科目との関係	「人体の構造と機能および疾病」の単位を修得していること。また本科目は介護福祉士養成と教員養成(福祉科)の必修科目となっている。この科目を履修した後に障害の理解 I 認知症の理解 I 発達と老化の理解 II を履修すること										
7. 講義概要	介護実践に必要な知識という観点から、こころとからだのしくみについての知識を養う。日常生活行動の意義を再確認し、そのそれぞれの場面で機能するこころとからだのしくみを理解する。(身支度、活動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠、コミュニケーション) この科目を履修することで、利用者の状態を正しく理解し、提供する介護の根拠を説明できるようになる。										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身支度に関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> <li>2. 日常生活の活動に関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> <li>3. 食事に関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> <li>4. 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> <li>5. 排泄に関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> <li>6. 睡眠に関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> <li>7. コミュニケーションに関連したこころとからだのしくみを理解し、説明することができる。</li> </ol>										
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	「ADLを行うために必要な身体機能についてのまとめ」の提出を授業の進行に合わせて適宜指示する。毎回の授業をしっかりと復習し、筆記試験に臨んで下さい。										
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】『最新介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ』中央法規出版。 【参考書】『生理学の基本がわかる事典』西東社。										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体の基本的な構造と機能を理解したか。</li> <li>2. 日常生活を行うために必要な身体の構造と機能を理解したか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、授業で行う豆テスト、課題、期末試験を総合的に評価する]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>2 豆テスト</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>4 課題</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の 60%</td> </tr> </table> <p>知識の定着が必要な科目であるため、期末試験に重点を置く。またそのことで知識を身に付ける必要性を認識させ、学ぶ意欲を高めていく。</p>			1 授業への積極的参加	総合点の 10%	2 豆テスト	総合点の 10%	4 課題	総合点の 20%	3 期末試験	総合点の 60%
1 授業への積極的参加	総合点の 10%										
2 豆テスト	総合点の 10%										
4 課題	総合点の 20%										
3 期末試験	総合点の 60%										
12. 受講生へのメッセージ	授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。 わからないところは、積極的に質問してください。 授業内容を理解し、復習をして筆記試験や期末試験に臨んでください。										
13. オフィスアワー	別途通知する。										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第 1 回	講義概要の説明 身体構造と機能について 日常生活動作について	事前学習	テキスト pp. 40~51 を読み、身体の概要をつかんでおく								
		事後学習	テキスト pp. 50-51 の内臓を覚える								
第 2 回	生命活動を調節する仕組み 恒常性の維持 呼吸器	事前学習	テキスト p52 を読み、呼吸のしくみを理解しておく								
		事後学習	恒常性の維持についてまとめておく								
第 3 回	循環器 血液 内分泌 免疫	事前学習	テキスト p. 55 図 2-15 をみて全身の血液の流れを理解しておく								
		事後学習	プリントを見直し、覚える								
第 4 回	身支度(洗顔、整髪、眼・耳・鼻・口の清潔、爪きり、更衣)に関連する身体の基礎知識 顔面、眼、鼻、口、指、爪の構造と機能	事前学習	テキスト pp. 112-113 を読んでおく								
		事後学習	プリントを見直し、覚える								
第 5 回	身支度の意義 身支度の動作に必要なこころとからだの機能 豆テスト①	事前学習	普段どのように身支度を行っているのか考える								
		事後学習	身支度の動作と身体構造・機能をまとめる								
第 6 回	日常生活の活動(姿勢保持、寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行)に関連する身体の基礎知識 骨、関節、筋、神経の構造と機能	事前学習	心・肺機能を復習しておく								
		事後学習	プリントを見直し、覚える								
第 7 回	日常生活の活動の意義 活動に必要なこころとからだの機能 豆テスト②	事前学習	活動の意義を考える								
		事後学習	活動動作と身体構造と機能をまとめる								
第 8 回	食事に関連する身体の基礎知識 消化器管の構造と機能、必要な栄養素・水分量	事前学習	テキスト p55-57 を読んでおく								
		事後学習	プリントを見直し、覚える								

第9回	食事の意義 食事動作に必要なこととからだの機能 食べるプロセス 豆テスト③	事前学習	食事の意義を考える
		事後学習	食事動作と身体構造・機能をまとめる
第10回	入浴・清潔保持に関連する身体の基礎知識 皮膚、頭髪、陰部の構造と機能	事前学習	テキスト pp. 174 を読み、皮膚の働きを理解しておく
		事後学習	プリントを見直し、覚える
第11回	入浴・清潔保持の意義 入浴・清潔動作に必要なこととからだの機能 豆テスト④	事前学習	入浴の意義を考える
		事後学習	入浴の動作と身体構造と機能をまとめる
第12回	排泄に関連する身体の基礎知識 泌尿器管の構造と機能、便、尿の生成のしくみ	事前学習	大腸の働きを復習しておく
		事後学習	プリントを見直し、覚える
第13回	排泄の意義 排泄動作に必要なこととからだの機能 豆テスト⑤	事前学習	排泄の意義を考える
		事後学習	排泄動作と身体構造・機能をまとめる
第14回	睡眠に関連する身体の基礎知識 睡眠の生理、睡眠パターン 睡眠の意義 睡眠に必要なこととからだの機能 豆テスト⑥	事前学習	睡眠の意義を考える
		事後学習	睡眠と身体構造と機能をまとめる
第15回	コミュニケーションに関連する身体の基礎知識 視覚、聴覚、発声に関する器官、言語中枢の構造と機能 コミュニケーションの意義 コミュニケーションに必要なこととからだのしくみ	事前学習	コミュニケーションの意義を考える
		事後学習	コミュニケーションと身体構造と機能をまとめる
期末試験			